



能楽会館
のちびる



森町文化会館
森町文化会館大ホール
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111

日本全国

能楽キャラバン!

梅若研能会 森町公演

令和5年10月1日(日) 12時30分開演 12時開場

森町文化会館大ホール (東京都千代田区森町一四八五)



舞臺子

松風 梅若万三郎

狂言

隠狸 奥津健太郎

仕舞

実盛 久田 勘鷗
花月 梅若 紀長

能

紅葉狩 長谷川晴彦

鬼揃

古室 知也
青木 健一
梅若 紀佳
萩原 郁也

主催 公益財団法人 能楽協会 / 公益財団法人 梅若研能会 / 後援 森町、森町教育委員会 / 協力 能楽の集い

写真上中【紅葉狩】梅若万三郎(撮影・黒野吉昭)、写真下【隠狸】奥津健太郎(撮影・田村英也)

日本全国能楽キヤラバン!

梅若研能会 森町公演

令和五年十月一日(日) 十二時半開演(十二時開場) 森町文化会館大ホール

お話し 紅葉狩と森町の伝承

舞囃子 松風

シテ 松風の雲 梅若万三郎

笛 藤田朝太郎

小鼓 古賀 裕己

大鼓 大倉正之助

梅若 久紀

久田三津子

久田 勘鷗

加藤 眞悟

狂言 隠狸

シテ 太郎冠者 奥津健太郎

アド主 奥津健一郎

仕舞 実盛

久田 勘鷗

梅若 紀長

梅若 志長

八田 達弥

加藤 眞悟

遠田 修

梅若 雅一

能 紅葉狩

鬼揃

前シテ上 脇 長谷川晴彦

後シテ鬼 女

ツレ侍女・鬼女 古室 知也

ツレ侍女・鬼女 青木 健一

ツレ侍女・鬼女 梅若 紀佳

ツレ侍女・鬼女 萩原 郁也

ワキ平維茂 岡 充

ワキツレ従者 橋本 宰

ワキツレ従者 相元 正樹

アイ供の女 伊藤 泰

アイ武内の神 野口 隆行

笛 藤田朝太郎

小鼓 古賀 裕己

大鼓 大倉正之助

太鼓 徳田 宗久

後見 中村 裕

梅若 雅一

久田三津子

中村 政裕

梅若 紀長

梅若 泰志

青木 一郎

八田 達弥

梅若万佐晴

伊藤 嘉章

休憩二十分

舞囃子【松風】 須磨の浦に隠棲したという、在原行平の詠んだ「立ち別れ 稲葉の山の峰に生ふるまつ年開かば 今帰り来ん」という和歌を題材に、行平を愛した松風、村雨姉妹の死後も消えぬ恋慕を描いた曲。

能の一場面を紋服にて囃子や謡の演奏に合わせて演じる、舞囃子の形式で上演します。

狂言【隠狸】 主人に隠れて狸を狩った太郎冠者。主人はそれを隠そうとする太郎冠者に、色々仕掛けて露見させようとする。主人と太郎冠者の遣り取りが大変楽しい作品。会話の喜劇である狂言の魅力を楽しめる作品です。

仕舞 能の見せ場を謡に合わせ、紋服の舞にて演じる上演方法です。

【実盛】 平家の一門として戦う運命を選んだ斎藤実盛は、老体ながら若武者達に侮られぬよう髪を染めて戦ったという逸話を持つ。法要の場に亡霊となって現われた実盛は、僧の目前で生前の戦いの様を見せ、後の弔いを願います。

【花月】 七歳の頃、彦山にて天狗にさらわれた花月は、清水寺に住み遊芸の者となって暮らしていました。そこに偶然生き別れの父が現われます。父子の再会を喜び、花月は天狗と共に巡った山々の様を舞い見せます。

能【紅葉狩】 信州の戸隠で山中に狩で入った平維茂は、紅葉狩の宴をする上臈等と遭遇する。宴席を乱すことを憚り立ち去ろうとする維茂であったが、一樹の影の宿りも他生の縁と、同席を進める女の誘いに宴に加わる事とします。勧められるままに酒を飲む維茂が寝入ってしまうと、女達は本性を現し鬼女となり維茂に襲いかかるのでした。

鬼(おに)の語源は、穂(おん)にあるとも言います。都を追われ隠れ住んでいた者達が、後に鬼という存在に繋がったとも言われています。

演者プロフィール

梅若万三郎(うめわかまんざぶろう) 1941(昭和16)年生、二世梅若万三郎の長男。公益財団法人梅若研能会理事長。重要無形文化財総合認定保持者、観世流薫允。昭和22年「合浦」にて初シテ以降演能多数、三宅女(姥捨・楳垣・関寺小町)を完演、橋香会「朝長」における演技で平成28年度文化庁芸術祭大賞を受賞。国内外で能の普及に努めている。

奥津健太郎(おくつけんたろう) 1972(昭和47)年生、重要無形文化財総合認定保持者、狂言方泉流、故十三世野村又三郎信廣に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業(狂言)専攻卒業。舞台に加え、狂言講座やワークショップなどの普及活動や、芸能による国際交流にも努めている。

久田勘鷗(ひさだかんお) 1947(昭和22)年生、久田秀雄の次男。公益財団法人 能楽財団理事。重要無形文化財総合認定保持者、名古屋製世会代表。1988年能「井筒」の演技に対し、大阪文化祭賞奨励賞受賞。中部・関西を中心に舞台活動をする傍ら「久田観正会」を主宰し、後進の指導をする。

梅若紀長(うめわかのりなが) 1968(昭和43)年生、三世梅若万三郎の長男。重要無形文化財総合認定保持者。昭和50年「合浦」にて初シテ。平成16年「日印交流プロジェクト」能楽団に団長として参加。渋谷区、鹿児島県鹿屋市など国内各地で能の普及に努めている。

長谷川晴彦(はせがわはるひこ) 1969(昭和44)年静岡興掛川市生。平成元年梅若万三郎家入門。三世梅若万三郎に師事。重要無形文化財総合認定保持者。掛川市ふるさと親善大使。平成5年「小袖管我」にて初シテ以降、静岡県を中心に全国各地での能の普及に努めている。「能楽の集い」主宰。

古室知也(こむろともや) 1971(昭和46)年千葉県市川市生。平成四年梅若万三郎家入門。三世梅若万三郎に師事。重要無形文化財総合認定保持者。平成12年「修正」にて初シテ以降、江東区・市川市など都内各地及び近郊のほか静岡県伊東市で能の普及に努めている。

青木健一(あおきけんいち) 1982(昭和57)年生、青木一郎の長男。三世梅若万三郎に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。武蔵野市、横浜市、茅野市など都内を中心に能楽普及に努めている。

梅若紀佳(うめわかのりか) 1996(平成8)年生、東京都渋谷区在住。祖父梅若万三郎、及び父梅若紀長に師事。平成11年「雲雀山」子方にて初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。

萩原郁也(はぎわらふみや) 2002(平成14)年静岡県森町生。令和三年梅若万三郎家入門。三世梅若万三郎に師事。令和5年3月東京藝術大学音楽学部邦楽科別科修了。

終了予定 十五時四十分



大日本報徳社

掛川市掛川一七六番地
〇五三七・三三・三〇一六



ワークピア磐田

磐田市見付二九八九・三
〇五三八・三六・八三八一



アクトシティ浜松音楽工房

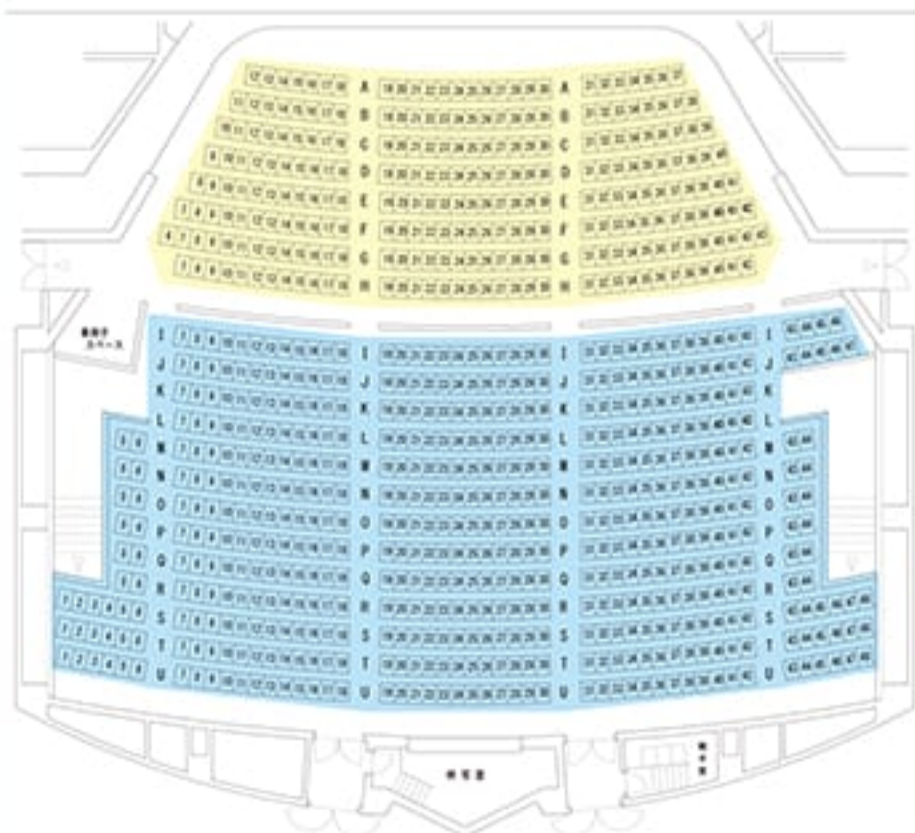
浜松市中区中央三・九・一(Dゾーン2階)
〇五三・四五・一一一一



森町文化会館

周智郡森町森一四八五
〇五三八・八五・一一一一

森町文化会館大ホール 座席表
座席数 797席 車椅子スペース 3席



チケット料金


指定席(上図黄色エリア)	4,000円
自由席(上図青色エリア)	3,000円
学 生(高校生以下)	2,000円引

●梅若研能会 森町公演チケット購入法●

1. 電話申込
 - ・カンフェティ TEL0120 (240) 540 (平日 10:00-18:00)
2. ネット申込
 - ・カンフェティ  ・e+ (イープラス) 
3. 店頭販売
 - ・兵藤楽器店掛川店(掛川市御所原 20-6)
4. 掛川「能楽の集い」へのお申込み
 - ・google form 

お申込みについてのお問合せ等は

掛川「能楽の集い」 メール：noh.tsudoi@gmail.com
または電話 090-3339-6559 (長谷川)

公演情報更新中「能楽の集い」HP 

問合せ 公益財団法人 梅若研能会

〒151-0066 渋谷区西原1-4-2 TEL 03(3466)3041

〈メールアドレス〉staff@umewakakennohkai.com

〈ホームページ〉http://www.umewakakennohkai.com



当日は字幕解説「能サポ」をご利用いただけます。
 ◎お手持ちのスマートフォン、タブレットに舞台上演に合わせた字幕解説が自動的に表示されます。(日本語)
 ◎事前にQRコードから「G・マーク」アプリ(無料)をダウンロードしてください。
 ◎当日ロビーでのご案内も致します。
<http://www.g-marcapp.com/>